

## 愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

### ①第三者評価機関名

株式会社 中部評価センター

### ②施設・事業所情報

名称： マミーベア保育室うえだ	種別：小規模保育事業所A型	
代表者氏名：	定員（利用人数）： 9名（7名）	
所在地： 愛知県名古屋市天白区植田1丁目1411番地		
TEL： 052-805-1554		
ホームページ： <a href="https://www.mammy-bear.jp/">https://www.mammy-bear.jp/</a>		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成31年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 株式会社 Bears		
職員数	常勤職員： 2名	非常勤職員： 2名
専門職員	（保育士） 4名	
施設・設備の概要	（居室数） 2室	（設備等）洗面所・トイレ・調理室
		応接室・園庭

### ③理念・基本方針

#### ★理念

私たちは「預けて良かった」と実感していただけるよう最大限「力」を尽くします。

#### ★基本方針

1. 当園は家庭的な雰囲気の中で、1人ひとりを丁寧に育みます。
2. 当園は1人ひとりの子どもに細心の注意を払い、事故防止に努め、思いやりの心を育み、基本的な生活習慣（食事・睡眠・排泄）が身に付くように努めます。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・少人数だからこそ、1人ひとりの成長を丁寧に見守ることが出来る。
- ・運動会や行事等で他園と交流することにより、たくさんの人と関わる経験を持つことができる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 5年 4月25日(契約日) ~ 令和 5年12月22日(評価確定日) 【令和 5年 8月25日(訪問調査日)】
受審回数 (前回の受審時期)	初 回 (平成 年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆園長のリーダーシップ

園長は、マミーベア保育園やごとひがしとの兼務である。時間の制約という難しさを抱えながらも、マミーベアの保育の考えを一人ひとりの職員に丁寧に伝えている。その取組みが保育の質の担保となっており、保護者との強い信頼関係の構築につながっている。それが、保護者アンケートの高評価として表れている。

◆働きやすい職場づくり

勤務シフトの調整を園長が行っており、職員が不足する場合には、法人内（系列園）からの応援が入る仕組みとなっている。また、相談窓口の設置に加え、年2回の園長との面談の機会にも相談できる仕組みがある。バースデー休暇や誕生日プレゼント、各種の休暇取得の配慮ができています。「健康経営優良法人」に認定され、働きやすさや健康への配慮が評価されている。さらに、市の「ワーク・ライフ・バランス推進企業」にも認証されている。

◆公益的な事業

職員の提案でペットボトルのキャップを回収して「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付をしている。また、「地域防災協力」として大規模災害時にAEDやトイレ、備蓄品等の協力を行うこととしており、地域の合同防災訓練にも参加している。

◆利用者満足の向上

行事ごとに、保護者にアンケートを配付して集計している。また、保育参加後の合同の懇談会や個別の懇談会も実施されており、保護者の意見を丁寧に収集している。課題が見つかった場合にはミーティングを開いている。アンケートの結果等でも保護者からの不満の声は聞かれず、高い満足度を示している。

◇改善を求められる点

◆経営に関する情報の共有化

「保育に集中してもらいたい」という法人代表の思いから、事業収支については園長を含め把握がされていない。職員に周知を図ることが職員の意識を向上させ、経営課題の解決や改善に向けての推進力ともなる。今後の取組みに期待したい。

◆「中・長期計画」とそれを踏まえた単年度の「事業計画」の作成

企業理念・保育方針が掲げられているが、それらの実現に向けた3～5年の中・長期計画が策定されていない。経営環境の把握・分析、その実情を理解した上で、企業理念・保育方針の具現化を図るための、収支計画を含めた中・長期計画の策定が求められる。また、中・長期計画を踏まえた単年度の「事業計画」も併せて検討されたい。

◆運営の透明性を確保するための情報公開

ホームページで苦情、経営理念、行動指針について公開している。また、ブログやインスタグラムといったSNSも活用し、各種の情報を発信している。事業計画、事業報告、予算、決算については公開されていないため、事業運営の透明性を確保するためにも積極的な公開を期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審することで、園での保育や取り組みについて客観的に再認識することができ、改めて職員で意識合わせできる機会ともなりました。  
保護者の方々との信頼関係構築や働きやすい職場づくりなど、園として大切に取組んできたことを特に評価していただき、大変嬉しく感じております。今後もより一層取組んでまいります。  
改善を求められる点としてアドバイスいただいた中・長期計画や事業計画については、うえだ室だけでなく全園で同じ意識をもって検討・策定し、より良い園を目指していきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

### 【共通評価基準】

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保1	Ⓐ ・ b ・ c
<コメント> パンフレットやホームページに、企業理念と保育方針が記載されている。玄関先にも企業理念、保育方針、保育目標が掲げられている。保護者には、年に2回の個人懇談の際や入園時、見学时に説明をしている。家族アンケートにも「説明を受けた」と100パーセントの保護者が答えている。職員は毎朝唱和し、入社オリエンテーションや研修会でも確認している。			

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保2	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 社会福祉事業全体の動向は、区の園長会や区・民生子ども課から情報提供されている。また、法人の毎月の園長会でも、子どもの数をはじめとしたデータの情報共有を行っている。小規模保育事業であるため、法人本部で詳細の把握を行っており、事業所では保育のコストや利用者の推移までは分析・把握に至っていない。			
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保3	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 経営課題としては、職員の定着と人材確保、人材育成が挙げられている。人材確保は全職員に手紙を送り、紹介制度の周知を図った。人材育成は法人内のキャリアアップ研修を実施している。保育に集中してもらいたいという法人代表の思いから、収支については園長を含め把握がされていない。職員に周知することが、経営課題の解決や改善に向けての前提となるため、今後の取組みに期待したい。			

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	保4	a ・ b ・ Ⓒ
<コメント> 企業理念・保育方針が掲げられているが、それらの実現に向けた3～5年の中・長期計画が策定されていない。経営環境の把握・分析を行い、その実情を踏まえた上で、企業理念・保育方針の具現化を図るための収支計画を含めた中・長期計画の策定が求められる。			
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	保5	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 中・長期計画が策定されていないが、「全体的な計画」が作成され、保育内容についてだけでなく、保護者支援、地域等への支援、地域行事への参加、研修計画が記載されている。企業理念・保育方針の具現化を図るために、実施状況の評価が可能な中・長期計画及び単年度の事業計画の策定が求められる。			

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	保6	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 企業理念・保育方針の実現を図るためのものが中・長期計画であり、単年度の事業計画となっている。事業計画を職員がよく理解することは、計画達成のために、さらには、中・長期計画、企業理念・保育方針の達成のために欠かすことができない要件となっている。事業計画の策定と合わせて、策定方法も検討されたい。		
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	保7	a ・ b ・ ㉔
<コメント> 事業計画は子どもの保育に関わる内容でもあり、当然、保護者等にも周知され、理解を促すための取り組みが必要となってくる。事業計画の策定と合わせ、保護者に周知すること、保護者の意見を反映させることも今後検討されたい。		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	保8	㉑ ・ b ・ c
<コメント> 第三者評価は今回が初めての受審となる。毎年度末に「保護者アンケート」を実施しており、事業所に対する満足度の項目は、回答した全保護者が「A」と最高評価をつけていた。また、改善要望があった項目については、通信アプリの「コドモン」を活用して保護者にフィードバックしている。保育の質の向上に向けた取組は組織的とは言い難いが、結果からすれば十分な域に達している。		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	保9	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 改善に向けての取組みは毎日のミーティングで行っており、「ミーティングノート」にその内容が記載されている。しかし、自己評価が行われていない。職員の参画の下で改善計画を策定し、計画に沿って取り組んでいくことを期待したい。さらに、その取組みを評価し、次に活かしていくというPDCAサイクルに基づいた改善の仕組みの構築を期待したい。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	保10	a	ⓑ・c
<コメント> 「職務分担表」には園長の役割が記載されている。園長は同法人が経営する系列園との兼務であり、1週間に2回、ミーティングに参加している。そのミーティングの中で、園長会等の報告を行っている。不在時の権限委任等は上席職員となっている。職員が4名という状況ではあるが、日々のリーダーを明確にし、情報伝達や指揮命令システムをはじめとした職場の秩序が維持できる仕組みが求められる。			
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保11	Ⓐ	b・c
<コメント> 遵守すべき法令等は、市・区からのメールや区の施設長会で最新の情報を得ている。また、社員研修でも個人情報取り扱いやコンプライアンスをはじめとした研修に、ワークを含めて取り組んでいる。遵守すべき法令等についてはミーティング時に周知し「ミーティングノート」にも記載されている。			
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	保12	Ⓐ	b・c
<コメント> 園長は系列園との兼務である。時間の制約という難しさを抱えながらも、マミーベアの保育の考えを一人ひとりの職員に丁寧に伝えている。その取組みが保育の質の担保となっており、保護者アンケートの高評価につながっている。			
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	保13	a	ⓑ・c
<コメント> ICカードによる出退勤の打刻と手書きの残業申請を照らし合わせ、園長が勤怠管理を行っている。人事や財務の面は法人本部が行っているため、園長の指導力の発揮までには至っていない。一方で、法人代表が各保育園の買い物を行い、物品を届けながら、スタッフとのコミュニケーションを図っている。この取組みが経営改善や業務の実効性を高めている。			

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果	
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	保14	a	ⓑ・c
<コメント> 市の就職フェスタに参加する等の取組を行ない、新卒者は予定通り採用されている。しかし、中途採用が難しい状況となっており、人材確保に加え、人材の定着についても具体的な計画を策定し、計画に沿った取組が実施されることを期待したい。			
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	保15	a	ⓑ・c
<コメント> 「期待する職員像」は、ホームページ等で明確になっている。人事評価は、勤怠や研修参加による意欲も含まれ、人事評価の結果は昇給や賞与に反映されている。総合的な人事管理、育成、活用、処遇、評価という点では改善の余地がある。			

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	保16	① ・ b ・ c
<コメント> 勤務シフトの調整は園長が行っている。職員の悩みの相談窓口は、契約する社会保険労務士が窓口となっている。また、園長と年2回の面談の機会にも相談できる仕組みがある。パースデー休暇や誕生日プレゼントがあり、休暇取得の配慮もできている。「健康経営優良法人」に認定され、働きやすさや健康への配慮が評価されている。さらに、市の「ワーク・ライフ・バランス推進企業」にも認証されている。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保17	① ・ b ・ c
<コメント> 職員一人ひとりが目標を記載し、顔写真入りで掲示している。毎月「振り返りメモ」を作成し、翌月の保育に活かしている。また「自己評価シート」を作成した後、園長と面談を行い、園長がコメントを記入した後には法人代表も確認をする仕組みとなっている。		
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保18	a ・ ② ・ c
<コメント> 社内研修が土曜日の午前中に開催されている。研修受講後は、「記録簿」で個人の研修履歴を把握している。「社内研修受講報告書」が作成され、PDCAサイクルに基づいて次につなげている。外部研修については、オンライン研修を積極的に受講している。今後の課題としては、外部の研修を含めて研修計画を作成すること、また研修計画についても評価と見直しを図りたい。		
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	保19	a ・ ③ ・ c
<コメント> 小規模園であるため、新任職員研修として、複数の職員が配置できる法人内の他園でOJTを行っている。研修2ヶ月目、半年後といった節目の園長会において、新任職員の研修状況を確認している。外部研修については、市からの研修案内を職員に知らせている。園内研修では、対応に困難な事例の検討をグループで行っている。パート職員の研修参加については、今後の取組みに期待したい。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	保20	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当（小規模保育事業A型のため）		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	保21	a ・ ① ・ c
<コメント> ホームページで苦情、経営理念、行動指針について公開している。また、ブログ、インスタグラムといったSNSも活用し、情報を発信している。事業計画、事業報告、予算、決算については公開されていないため、今後の取組みに期待したい。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保22	a ・ ② ・ c
<コメント> 「経理規程」に事務、経理、取引に関するルールが記載されている。公認会計士が4半期ごとの財務レポートを作成している。しかし、事業所においては、小口現金の取扱いも含めて携わっていないため、経営改善を進めていく上で課題が残る。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果	
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保23	a · b · c	
<p>&lt;コメント&gt;                      地域との関わりは、散歩の時に挨拶をしたり、ハロウィンで地域を訪問したりしている。「2023年度版天白区子育て情報誌」や「子ども・子育てお役立ち便利帳」といった地域における社会資源等が記載された冊子を、いつでも見られるようにしている。</p>			
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保24	a · b · c	
<p>&lt;コメント&gt;                      ボランティアの受入れや、学校教育への協力は行っていない。ボランティアや学校教育への協力の姿勢を明確にして職員で共有し、保護者の心情にも配慮しながら、ボランティアや福祉体験学習の児童・生徒の受入れを検討していただきたい。</p>			
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保25	a · b · c	
<p>&lt;コメント&gt;                      社会資源について記載された冊子があり、いつでも見られるようにして、職員間でも情報共有が図られている。公立保育園から地域の小規模保育園への訪問が、月に1回行われている。また、区の園長会が年に4回行われている。家庭での虐待等の心配がある子どもに対しては、関係機関と連携して対応している。</p>			
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	保26	a · b · c	
<p>&lt;コメント&gt;                      区の園長会に出席することで、地域の福祉ニーズの把握を行っている。保育所のもつ機能の還元としては、YouTubeで手遊びを発信している。保育に関する相談については、卒園後も相談ができることの周知が図られており、地域からの相談にも答えている。</p>			
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保27	a · b · c	
<p>&lt;コメント&gt;                      職員の提案で、ペットボトルのキャップを回収して「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付をしている。また、地域への防災協力として、大規模災害時にAEDやトイレ、備蓄品等の協力を行うことがホームページで公開され、地域の合同防災訓練にも参加している。</p>			

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保28	a ・ ㉑ ・ c
<コメント> 法人本部で作成された理念や基本方針が明示されており、入職時には就業についての研修を受ける機会がある。事業所内での研修やミーティングなどを通して理解を図る機会はあるが、法人全体としての研修計画は策定されておらず、パート職員を含めた全ての職員が共通理解するには至っていない。		
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保29	a ・ ㉑ ・ c
<コメント> 個人情報や虐待などに関するマニュアルが作成され、いつでもマニュアルを見て確認することは可能であるが、具体的な流れなどは明記されていない。SNSなどが活用され、保護者への情報提供などもされている。限られた人数の職員で保育する中で、職員がどのように動けばよいのか等が分かりづらいため、具体的な方法を示す等の改善を期待したい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	保30	a ・ ㉑ ・ c
<コメント> ホームページや小冊子などは法人本部で管理されており、見やすいものが作成されている。小冊子は図や絵なども多く、見やすいものとなっている。ブログやインスタグラムなども常時更新され、分かりやすくなっている。配布先としては、系列の各園のみということであったので、地域の公共機関や施設などへの働きかけを通して、配布先の拡大を期待したい。		
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保31	a ・ ㉑ ・ c
<コメント> 入園時の説明については、利用者個々に対応することが可能なため、丁寧な説明がされている。保護者に配付する資料については、誰がいつ見ても分かりやすいように写真や絵、図などを活用し、視覚で伝える工夫が期待される。特に配慮が必要な保護者は、現在は在籍していないとの事であるが、説明方法等についてはルール化されていない。		
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保32	a ・ ㉑ ・ c
<コメント> 法人内の園に転園する際には、法人の園長会等で口頭での伝達となっており、引継ぎについての文書はない。法人以外の園に転園する際にも、問題のある時のみの伝達となっている。保育の継続性に配慮するための文書化を期待したい。転園などにより利用先が変更となる際の相談についての文書は確認できたが、担当者や窓口などについては記載がなかった。更に分かりやすい対応を期待したい。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保33	㉒ ・ b ・ c
<コメント> 行事ごとにアンケートを配付し、集計したものを保護者にフィードバックしている。今年度は夏（7月）の保育参加の後に合同の懇談会を開催し、年度の後半には個別の懇談会も予定されている。課題が見つかった場合にはミーティングを行い、記録もされている。アンケートの結果等でも、保護者からは不満の声は聞かれず、満足度の高さを示している。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保34	a ・ ㉑ ・ c
<コメント> 苦情解決についてのマニュアルが整備されている。利用開始時の書類やホームページ等にも記載があり、玄関にも掲示されている。保護者とは、送迎時に直接会話することが多いため、苦情を申し出るまでには至っていない。マニュアルは整備されているが、現場の職員が更に理解を深められるよう、フローチャートなどの活用を通してマニュアルの見直し・改善にも期待したい。		

Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保35	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          利用する子どもの人数が少ないこともあり、連絡帳だけでなく送迎時に直接会話するなど、一人ひとりの保護者への配慮が行き届いている。月に1回の園だより（「マミーベアだより」）をコドモンにて配信し、日々の保育への理解・浸透を図っている。相談をする部屋も設けられており、保護者が相談をしやすい環境が整えられている。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保36	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          毎日の保育の中での子どもの様子や成長を伝えることで、大きな問題は起きていないが、保護者からの意見や相談があった場合は、園内でミーティングを行って対応策を図るとともに「申し送りノート」などに記載し、職員間で共有している。現場の職員レベルでは対応が困難な事態が発生した場合には、管轄の園長に報告して指示を仰いでいる。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	保37	a ・ ② ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          市が主催するリスクマネジメント研修には参加する機会があったが、定期的な研修の機会やパート職員の研修への参加の機会が無いため、リスクマネジメントに対する意識の弱さが見られる。少人数での保育ということで大きな問題は発生していないが、法人としての研修体制の構築を図りたい。</p>		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	保38	a ・ ② ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          感染症のマニュアルは整備されているが、実際に発生した際の対応などが記載されておらず、現場の職員の経験を基にした対応が図られている。どの職員も同じ対応ができるよう、具体的なものが文書化されることを期待するとともに、意識を高めるための研修体制等の整備を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	保39	a ・ ② ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          災害時における計画や非常食の備蓄、管理者等は整備されている。しかし、実際に災害が発生した場合の子どもの安全確保への職員の役割分担などは記載されておらず、対応の統一が図られていない。限られた職員での運営のため、災害が発生した場合に連携が取れるよう、地域との繋がりなどに期待したい。また、職員の危機管理の意識の向上を図りたい。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	保40	① ・ b ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          標準的な実施方法についてはパソコンにて保管され、事業所内のそれぞれの場所に掲示等が行われている。職員の手元には紙媒体にて配付され、各自が必要に応じて確認できるようになっている。職員間でのコミュニケーションが良好なこともあり、口頭での伝達や確認で済んでいる。</p>		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保41	a ・ ② ・ c
<p>&lt;コメント&gt;          指導計画を除く書類のほとんどが法人で作成されており、法人での見直し等は行われているようであるが、それぞれの現場での声が反映された見直しには至っていない。現場での声が反映されたり、周知ができるような仕組み作りに期待したい。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	保42	㉗ ・ b ・ c
<コメント> 法人本部で作成された「全体的な計画」を基に、各事業所で指導計画が作成されている。未満児の園であり、また定員9名の小規模保育所であることから、個別の指導計画が作成されており、評価に基づいての作成の仕組みはできている。個別指導計画を除いた他の指導計画については、系列園（マミーベア保育園やごとひがし）と共通で作成されるため、指導計画作成の仕組みは構築されている。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	保43	a ・ ㉘ ・ c
<コメント> マミーベア保育園やごとひがしと共通での指導計画のため、細かい部分での子どもの姿や評価等については、反映されている部分と反映されにくい部分とが混在している。毎月の指導計画に対しての評価・見直しはされているが、各園での課題が反映される指導計画作成の仕組み作りを期待したい。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保44	a ・ ㉙ ・ c
<コメント> 子どもの数と同様に職員数が少ないこともあり、職員間での情報の共有はできている。引継ぎ事項などはノートに記録しているが、記載することを忘れてしまった際には、園の携帯電話で連絡するなどして確認できるようにしている。パソコンやファイルなどは決められた場所に保管されており、共有する仕組みはできている。記録類の取扱いについての手引書などは確認できなかった。		
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保45	a ・ ㉚ ・ c
<コメント> 個人情報に関するマニュアルが整備されており、保存や廃棄等の規定についても法人で定められている。パソコンは鍵のかかるところで保管されているが、個人情報の記載されたファイル等は鍵の無い所での保管である。保管方法の見直しを図るとともに、危機管理に対しての意識の向上に期待したい。		

## 【内容評価基準】

### A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育の全体的な計画の編成		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育の全体的な計画を編成している。	保46	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 「全体的な計画」は、法人の理念・保育方針などに基づき、法人の園長会にて作成が行われている。系列園であるマミーベア保育園やごとひがしの園長が兼務しているということもあり、当該事業所の状況・地域性などが反映されていない部分も見られる。自園の実情に即した「全体的な計画」の作成を期待したい。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保47	① ・ b ・ c
<コメント> 空気清浄機・加湿器や清掃・消毒などの衛生管理を行い、適切な環境作りに努めている。チェック表などを用いて定期的な点検等も行われている。限られた空間の中で配置等を工夫するとともに、ゆっくり声をかけるなど、子どもが落ち着いて過ごすことができるように工夫している。		
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	保48	① ・ b ・ c
<コメント> 人数が少ないこともあり、子どもの状態についてはどの職員も把握できており、職員間でもこまめに声を掛け合って情報を共有するようにしている。一人ひとりの子どもにゆっくりと接して会話をしたり成長を確認する事ができ、子ども一人ひとりを受け止めることができている。		
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	保49	① ・ b ・ c
<コメント> 子ども的人数が少ないため、一人ひとりに合わせた援助が行えている。「マミーベアだより」などを通して園での様子を伝えたり、ブログやInstagramなどのSNSを通して、保護者に分かりやすく働きかけをしている。生活の乱れが見られる場合などにも声をかけ、家庭との連携にも配慮している。		
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	保50	① ・ b ・ c
<コメント> 未満児のみで人数も少ないこともあり、子どもがやりたい遊びができるように玩具を配置したり、コーナー作りをすることで、子どもが主体的に遊ぶことができている。保育室の中だけでなく、天候に合わせて散歩に出かけたり、園の前のスペースで遊べるようにするなど、多彩な保育環境を整えている。		
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保51	① ・ b ・ c
<コメント> 現在は0歳児の在籍はないが、来月より育休明けの子どもが利用開始となる予定である。1、2歳児混合での保育のため、0歳児の発達や興味に合わせた玩具の提供や環境作りにも配慮している。		
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保52	① ・ b ・ c
<コメント> 限られた環境の中で様々な取組みが行われており、未満児の保育が展開されている。散歩に出かけて地域の人と触れ合ったり、郵便の配達人や宅配業者などの大人との関りを持つ機会もある。偏食気味の子には、家庭と連携を図って、少しずつ改善が図られるように援助するなど、子どもの状況に応じた配慮がある。		

A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保53	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当		
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保54	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当		
A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保55	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 子ども的人数が少ないため、保護者の送迎が重なることはほとんどなく、一人ひとりの保護者にゆとりと関わっている。「全体的な計画」および指導計画の中に、長時間保育に関する記述が確認できなかった。長時間保育について、それぞれの園の状況に応じての位置づけを期待したい。		
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	保56	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当		
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	保57	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 健康管理に関するマニュアルは法人本部が作成しており、園にても確認をすることができた。しかし、SIDS（乳幼児突然死症候群）の研修やAEDの講習などは、専門性の高い講師を招聘するのではなく、園内での研修に留まっている。法人本部からの看護師の派遣の機会などはないので、法人全体で健康管理に関する体制作りを期待したい。		
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	保58	① ・ b ・ c
<コメント> 健康診断については年2回、歯科検診については年1回行われており、記録も管理されている。歯磨きに関する玩具を作ったり、絵本を見るなどして指導計画にも反映させている。それらの健診の記録については、保護者一人ひとりに用紙を確認・チェックしてもらい、園で保管している。		
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	保59	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 法人本部が作成したアレルギーに関するマニュアルについては確認する事ができた。現在はアレルギーのある子どもも、慢性疾患を持った子どもも在籍してはいない。アレルギーに関する研修については、オンライン研修を受講しているが、全職員が定期的を受けられるような研修体制の構築を期待したい。		
A-1-(4) 食育、食の安全		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	保60	① ・ b ・ c
<コメント> 献立は、市の献立と同じものを提供している。調理方法や食事の形態、盛り付け、食事の量などは個々に応じた対応を行い、楽しく食事ができるように配慮している。園でトマトの栽培をしたり、さつま芋掘りを体験する機会を持つなど、食に関する関心や興味を引き出す工夫をしている。コドモンの配信を通して、食事の摂取量を保護者に知らせるなどの工夫もしている。		

A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	保61	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 衛生管理に関するマニュアルは確認する事ができたが、食中毒などが発生した場合の現場での対応などの具体的な記述は確認できなかった。検食や残食の記録もされているが、調理員がいないため、職員が交代で調理に携わっている。おやつも手作りが多く、栄養士や調理員の派遣などの体制作りを期待したい。		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭と綿密な連携		
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	保62	① ・ b ・ c
<コメント> 連絡帳で、日々の子どもの様子は情報共有されている。法人の方針により、おむつのサブスクを取り入れているが、コドモンを通して毎日の使用状況を知らせるなど、保護者との細かな連携も行われている。保護者との情報交換の内容についても記録されており、家庭との連携は図られている。		
A-2-(2) 保護者の支援		
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保63	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 子ども的人数が少ないという保育園の特性の中で、保護者の一人ひとりと積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築くようにしている。保護者からの意見・要望や相談等の内容によっては、マミーベア保育園やごとひがしの園長に助言を仰ぐ体制はできている。今後の課題としては、法人全体の支援体制として、専門家とのパイプ作りが挙げられる。		
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保64	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> 「虐待マニュアル」は整備されているが、虐待に関する研修の機会が限られており、職員全員が受講できていない。マミーベア保育園やごとひがしの園長との連携はできているが、具体的な対応についての職員理解が図られていない。定期的に研修を取り入れるなど、更なる危機管理の体制作りを期待したい。		

## A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保65	① ・ b ・ c
<コメント> 職員自身の自己評価については年に2回の機会があり、それに対して法人代表からの振り返り・評価も行われている。日々の保育の悩みなどについても、毎月の「振り返りシート」で課題の抽出や改善に取り組み、専門性の向上に努めている。		